

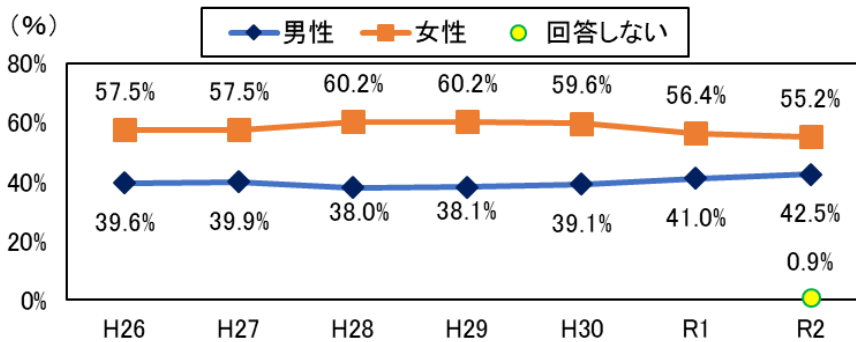
第3章 調査結果

1 調査結果の概要

(1) 回答者の属性

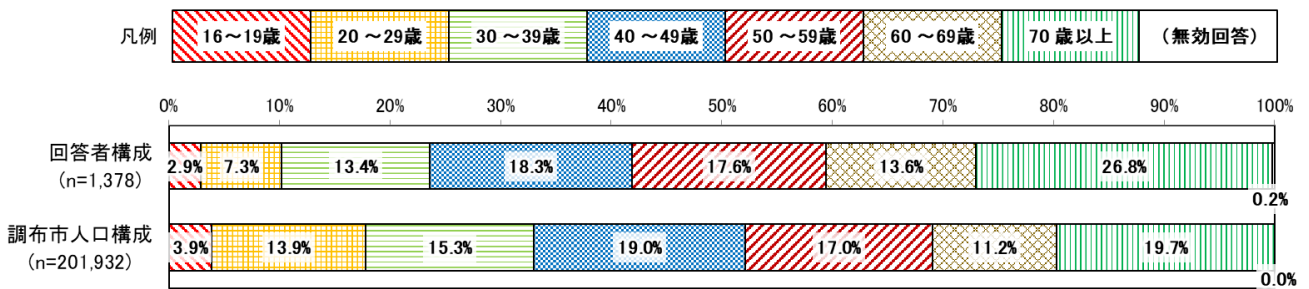
ア 性別

○回答者の性別構成比は、過去の傾向と同様、女性が男性を上回っています。



イ 年齢層別

○回答者の年齢層別構成比は、令和2年11月1日現在の16歳以上の調布市人口（日本人のみ）と比べて、40歳代までは低い一方、50歳代以上は高くなっています。



ウ その他

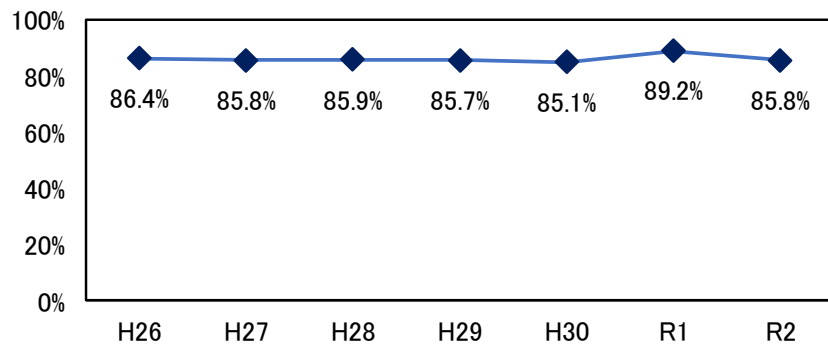
○回答者のその他の属性の特徴は以下のとおりです。

【図表 各属性において割合が高い上位3項目】

属性	割合が高い回答		
	第1位	第2位	第3位
職業	建設業・鉱工業・製造業系以外の商業・サービス業系などの会社員 21.8%	無職 19.7%	派遣・契約・嘱託社員、パート・アルバイト 17.4%
通勤(就業)・通学先	東京23区内 46.2%	市内(自宅以外) 21.3%	多摩地域(東京23区・島しょを除く地域) 17.2%
住居形態	一戸建て(持ち家) 41.4%	集合住宅(賃貸) 24.2%	集合住宅(分譲) 22.9%
居住年数	30年以上 32.5%	10年以上20年未満 23.5%	20年以上30年未満 15.1%
前居住地	東京23区内 37.7%	多摩地域(東京23区・島しょを除く地域) 23.7%	調布市以外に住んだことがない 13.9%

(2) 今後の定住意向

○調布市に住み続けたい人（「住み続けるつもりである」＋「事情が許せば住み続けたい」）は85.8%であり、令和元年度より3.4ポイント減少しています。



(3) 市政全般に対する満足度・優先度

ア 現在の満足度

＜満足度・不満足度が高い項目＞

○市民が普段の暮らしの中で感じている市政全般に関する48項目に対する満足度^{※1}（「満足している」＋「どちらかといえば満足している」）を見ると、昨年度第3位であった「日常の買い物の便利さ」が第1位となっています。「日常の買い物の便利さ」に対する満足度は、平成29年度から年々上昇しており、特に南部地域（中心市街地）と東部地域では満足とが高い傾向にあります。

○一方、不満足度（「不満である」＋「どちらかといえば不満である」）は、「道路の整備（新設、拡張を伴う改良）」が第1位、次いで「既設道路の維持管理（損傷した部分の補修、清掃、点検等）」となっています。

【図表 満足度及び不満足度が高い上位5項目】

	順位	項目	割合	令和元年度 順位/割合 (%)
満足	1	日常の買い物の便利さ	83.6%	3位/82.0
	2	ごみ処理	82.8%	2位/82.4
	3	調布市花火大会（映画のまち調布花火）	81.5%	1位/83.0
	3	緑の保全や自然環境	81.5%	8位/78.1
	5	深大寺地域などの観光振興	81.4%	4位/80.8
不満	1	道路の整備（新設、拡張を伴う改良）	40.2%	1位/43.6
	2	既設道路の維持管理（損傷した部分の補修、清掃、点検等）	34.6%	
	3	居住環境（バリアフリー・耐震化など）	29.9%	2位/36.6
	4	風水害などへの災害対策	28.2%	3位/29.6
	5	就労などの面で困難をかかえる若者への支援	25.0%	5位/26.2

※1 満足度は、「満足している」、「どちらかといえば満足している」、「どちらかといえば不満である」、「不満である」の4段階で評価

※2 「道路の整備（新設、拡張を伴う改良）」、「既設道路の維持管理（損傷した部分の補修、清掃、点検等）」は、令和元年度までは「道路整備」という1つの質問項目になっていました。

※3 「風水害などへの災害対策」は、令和元年度までは「地震、風水害などへの災害対策」という質問項目になっており、令和2年度は、「地震への災害対策」、「風水害などへの災害対策」の2つの質問項目に分けました。

<満足度の経年比較>

- 全項目の満足度の平均値について経年推移を見ると令和2年度は昨年度と比較して2.3ポイント増加しています。また、直近5箇年(平成27年度～令和元年度)の平均値を9.0ポイント上回っています。
- 満足度が、過去5年(平成27年度～令和元年度)の平均値と比較して増加したのは、全48項目中47項目で、うち10ポイント以上増加した項目は、20項目となっています。特に、中心市街地(調布・布田・国領駅周辺)の活気・にぎわいについては15.8ポイント増加しています。併せて、「市内工業・商業などの活力」は13.0ポイント、「街並み・景観」についても12.0ポイント増加しており、トリエ京王調布の開業や駅前広場の整備・利活用をはじめ調布駅周辺の賑わい創出などによるものと考えられます。また、「市内中小企業に対する支援」、「ひとり親家庭への生活・経済面の支援」についても増加しており、新型コロナウイルス感染拡大に伴い展開した地域経済・市民生活支援の取組も一定の評価を得られているものと考えられます。
- 一方、満足度が過去5年の平均値より減少していたのは1項目のみで、10ポイント以上減少した項目はありませんでした。

【図表 全項目の満足度の平均値】

H27	H28	H29	H30	R1	過去平均値※	R2
59.7%	60.1%	59.0%	63.6%	69.0%	62.3%	71.3%

※ 一部、令和2年度から調査を開始した項目を含む

【図表 満足度が過去の平均値より10ポイント以上増減した項目】

	項目	増減※ (ポイント)
満足度が 10ポイント以上 増加した項目	中心市街地(調布・布田・国領駅周辺)の活気・にぎわい	15.8
	市内工業・商業などの活力	13.0
	市内中小企業に対する支援	12.3
	街並み・景観	12.0
	労働セミナーや就職面接会の開催など、雇用・就職に向けた取組	12.0
	行政評価の取組	11.9
	支出の節減、収入の確保、受益者負担の適正化など	11.8
	市民参加と協働の取組	11.6
	ひとり親家庭への生活・経済面の支援	11.5
	公園や遊び場	11.4
	職員数の見直しや職員給与の適正化の取組	11.3
	高齢者の福祉	11.2
	「映画のまち調布(映画・映像を“つくる・楽しむ・学ぶ”まち)」を進める取組	11.0
	障害者の福祉	10.9
	地域コミュニティ(自治会・地区協議会など)の活動支援	10.6
	民間活力の活用の推進など簡素で効率的な組織づくりの取組	10.5
	日常の買い物の便利さ	10.4
歴史・文化財の保存や継承	10.4	
就労などの面で困難をかかえる若者への支援	10.2	
緑の保全や自然環境	10.0	
満足度が 10ポイント以上 減少した項目	—	—

※ 令和2年度の実績値から過去5年の平均値を引いた値

第3章 調査結果<調査結果の概要>

【図表 満足度の経年推移】

	項目	H27	H28	H29	H30	R 1	過去平 均値※1	R 2	過去平均値 との差 (ポイント)
基本目標 1	地震への災害対策	59.7%	57.7%	61.4%	59.9%	65.3%	60.8%	69.4%	-
	風水害などへの災害対策							65.3%	-
	火災などへの消防対策	66.9%	66.8%	67.9%	70.3%	79.2%	70.2%	75.6%	5.4
	防犯対策	61.6%	60.3%	62.1%	64.5%	70.7%	63.8%	69.2%	5.4
基本目標 2	子育て支援サービス	54.1%	51.9%	50.6%	59.4%	61.2%	55.4%	64.7%	9.3
	ひとり親家庭への生活・経済面の支援	51.8%	50.4%	49.0%	56.1%	58.4%	53.1%	64.6%	11.5
	小・中学校の教育	57.5%	56.7%	55.6%	62.5%	62.0%	58.9%	63.9%	5.0
	青少年の非行防止や健全育成対策	52.7%	54.2%	50.6%	59.0%	64.0%	56.1%	65.4%	9.3
	就労などの面で困難をかかえる若者への支援	44.6%	44.8%	44.6%	50.7%	54.5%	47.8%	58.0%	10.2
基本目標 3	高齢者の福祉	55.7%	58.4%	57.4%	61.8%	64.2%	59.5%	70.7%	11.2
	障害者の福祉	54.9%	57.3%	56.6%	59.8%	64.5%	58.6%	69.5%	10.9
	労働セミナーや就職面接会の開催など、雇用・就職に向けた取組	51.7%	50.8%	50.6%	56.2%	62.3%	54.3%	66.3%	12.0
	健康診断などの保健サービス	66.0%	66.1%	65.5%	69.3%	73.2%	68.0%	75.3%	7.3
	病院・診療所などの医療機関	64.7%	63.7%	64.9%	69.5%	72.6%	67.1%	73.0%	5.9
基本目標 4	図書館	69.8%	70.1%	69.1%	73.0%	77.9%	77.9%	80.4%	2.5
	公民館					74.8%	74.8%	75.4%	0.6
	たづくりを中心とした生涯学習	66.0%	65.6%	63.9%	69.4%	77.3%	68.4%	77.6%	9.2
	スポーツ振興	64.8%	64.0%	62.6%	69.4%	75.9%	67.3%	77.2%	9.9
基本目標 5	地域コミュニティ（自治会・地区協議会など）の活動支援	57.8%	58.7%	55.9%	63.2%	67.7%	60.7%	71.3%	10.6
基本目標 6	日常の買い物の便利さ	69.5%	69.2%	71.3%	73.8%	82.0%	73.2%	83.6%	10.4
	市内工業・商業などの活力	47.6%	50.2%	53.4%	58.2%	63.5%	54.6%	67.6%	13.0
	市内中小企業に対する支援	50.7%	51.7%	49.2%	56.9%	61.6%	54.0%	66.3%	12.3
	深大寺地域などの観光振興	70.2%	72.6%	69.5%	75.9%	80.8%	73.8%	81.4%	7.6
	調布市花火大会（映画のまち調布花火）	76.4%	76.2%	66.6%	71.2%	83.0%	74.7%	81.5%	6.8
	「映画のまち調布（映画・映像を“つくる・楽しむ・学ぶ”まち）」を進める取組	64.2%	63.0%	64.0%	69.0%	75.6%	67.2%	78.2%	11.0
	グリーンホール・たづくり・せんがわ劇場などを中心とした芸術・文化活動	67.5%	68.7%	67.2%	71.7%	78.3%	70.7%	79.4%	8.7
	歴史・文化財の保存や継承	68.1%	67.8%	65.6%	70.8%	77.9%	70.0%	80.4%	10.4
基本目標 7	街並み・景観	59.8%	61.7%	60.8%	63.3%	67.7%	62.7%	74.7%	12.0
	中心市街地（調布・布田・国領駅周辺）の活気・にぎわい	51.7%	52.9%	60.2%	62.3%	69.1%	59.2%	75.0%	15.8
	居住環境（バリアフリー・耐震化など）	63.2%	66.3%	63.9%	70.5%	53.8%	63.5%	62.8%	-0.7
	道路の整備（新設、拡幅を伴う改良）	42.7%	43.3%	40.7%	45.5%	49.7%	44.4%	53.5%	-
	既設道路の維持管理（損傷した部分の補修、清掃、点検等）							58.6%	-
基本目標 8	緑の保全や自然環境	71.6%	70.6%	68.7%	68.5%	78.1%	71.5%	81.5%	10.0
	公園や遊び場	58.2%	58.0%	56.7%	58.0%	65.2%	59.2%	70.6%	11.4
	ごみ処理	73.4%	72.9%	72.9%	74.2%	82.4%	75.2%	82.8%	7.6
	生活環境（騒音・悪臭・野焼きなど）対策	66.5%	67.3%	67.4%	70.8%	80.5%	70.5%	79.5%	9.0
まちづくりの 基本理念を実現するために	平和・国際交流の取組	-	-	-	-	72.5%	72.5%	75.5%	3.0
	人権に関する啓発・相談	-	-	-	-	71.9%	71.9%	73.8%	1.9
	女性の社会参加・参画	58.5%	57.6%	56.4%	61.6%	67.9%	60.4%	70.3%	9.9
行革プラン 2019	市民参加と協働の取組	57.9%	59.7%	55.3%	60.6%	69.6%	60.6%	72.2%	11.6
	市報、ホームページ、フェイスブック、調布エフエムなどを活用した市政情報の発信	60.7%	62.1%	58.5%	-	70.3%	70.3%	71.7%	1.4
	ホームページの見やすさ				57.5%	62.8%	60.1%	63.7%	3.6
	民間活力の活用の推進など簡素で効率的な組織づくりの取組	55.6%	56.6%	53.6%	58.9%	64.7%	57.9%	68.4%	10.5
	窓口・電話における職員の対応	65.3%	68.4%	64.7%	69.7%	74.8%	68.6%	76.5%	7.9
	職員数の見直しや職員給与の適正化の取組	50.4%	51.3%	49.9%	55.0%	60.9%	53.5%	64.8%	11.3
	公共施設等の総合的なマネジメントに関する取組	-	-	-	58.2%	63.1%	60.7%	67.8%	7.1
	行政評価の取組	50.8%	52.1%	50.8%	55.8%	61.5%	54.2%	66.1%	11.9
	支出の節減、収入の確保、受益者負担の適正化など	47.6%	49.6%	47.7%	53.4%	58.0%	51.3%	63.1%	11.8

※1 平成27年度～令和元年度の平均値

※2 「地震への災害対策」、「風水害などへの災害対策」は、令和元年度までは「地震、風水害などへの災害対策」という質問項目でした。

※3 「道路の整備（新設、拡幅を伴う改良）」、「既設道路の維持管理（損傷した部分の補修、清掃、点検等）」は、令和元年度までは「道路整備」という質問項目でした。

イ 今後の優先度

<優先度が高い項目>

○市民が普段の暮らしの中で感じている市政全般に関する48項目に対する優先度※（「最優先かつ重点的に取り組むべきである」＋「優先して取り組むべきである」）を見ると、昨年度と同様「地震への災害対策」が第1位となっています。次いで、第2位は「風水害などへの災害対策」、第3位は「道路の整備（新設、拡幅を伴う改良）」となっています。

【図表 優先度が高い上位5項目】

	順位	項目	割合	令和元年度 順位/割合 (%)
優先	1	地震への災害対策	58.2%	1位/68.0
	2	風水害などへの災害対策	58.1%	
	3	道路の整備（新設、拡幅を伴う改良）	49.5%	2位/52.5
	4	防犯対策	49.1%	3位/50.5
	5	就労などの面で困難をかかえる若者への支援	47.5%	8位/44.9
他を優先	1	公民館	67.6%	2位/66.7
	2	グリーンホールなどを中心とした芸術・文化活動	65.7%	5位/65.0
	3	たづくりを中心とした生涯学習	65.5%	3位/65.5
	4	調布市花火大会（映画のまち調布花火）	65.3%	1位/68.4
	5	「映画のまち調布」を進める取組	65.0%	4位/65.4

※1 優先度は、「最優先かつ重点的に取り組むべきである」、「優先して取り組むべきである」、「現状の取組を維持すればよい」、「他の取組を優先すべきである」の4段階で評価

※2 「地震への災害対策」、「風水害などへの災害対策」は、令和元年度までは「地震、風水害などへの災害対策」という質問項目でした。

※3 「道路の整備（新設、拡幅を伴う改良）」、「既設道路の維持管理（損傷した部分の補修、清掃、点検等）」は、令和元年度までは「道路整備」という質問項目でした。

(4) まちづくり指標

- 基本計画のまちづくり指標に該当している29項目(31指標)のうち、令和2年度に目標値を達成した項目は6項目ありました。
- 目標未達で現状値と目標値の差が10ポイント以上の項目は13項目(14指標)あります(「災害が発生した際、避難する避難所や家族等との連絡方法を決めている市民の割合」、「地域包括支援センターを知っている高齢者の割合」、「定期的ながん検診を受けている市民の割合」、「1年間に生涯学習をした人の割合」、「学習の成果をまちづくりに生かしている市民の割合」、「地域の一員としての連帯感を感じている市民の割合」、「地域の活動に参加している市民の割合」、「1年間で芸術文化を鑑賞、または自ら芸術文化活動を行った市民のうち、市内公共施設を利用した割合」、「中心市街地が魅力的であるとと感じている市民の割合」、「バリアフリー対応住宅に住んでいると答えた市民の割合」、「空き家とならないための予防策が必要であるとと感じている市民の割合」、「自宅などから目的地まで円滑に移動できる道路ネットワークが形成されていると感じている市民の割合」、「戦争についての話をしたり、聞いたりしたことのある市民の割合」)。
- このうち「1年間に生涯学習をした人の割合」、「学習の成果をまちづくりに生かしている市民の割合」、「1年間で芸術文化を鑑賞、または自ら芸術文化活動を行った市民のうち、市内公共施設を利用した割合」などは、新型コロナウイルス感染症の影響により活動ができなかったことが要因と考えられます。
- 現状値と目標値の差が5ポイント以内の指標は、「子ども家庭支援センターすこやかなどで児童虐待に関する相談を受け付けていることを知っている市民の割合」、「住みやすいと感じている市民の割合」、「深大寺周辺の景観が優れていると感じている市民の割合」になります。

【図表 まちづくり指標の現状値と目標値の差】

基本目標	施策	調査結果				目標値 (R4年度)	現状値と 目標値の 差	
		H30年度 (基準値)	R1年度	R2年度 (現状値)	R1~2年度 平均値			
基本目標1	施策01 災害が発生した際、避難する避難所や家族等との連絡方法を決めている市民の割合	避難所	71.4%*	55.9%	55.5%	55.7%	75.0%	▲19.5
		連絡方法	60.5%*	60.7%	60.0%	60.4%	70.0%	▲10.0
	施策02 治安の面で自分の住んでいる地域が安心して暮らせると感じている市民の割合	83.3%	81.9%	83.7%	82.8%	90.0%	▲6.3	
基本目標2	施策04 子育て支援サービスに満足している市民の割合	59.4%	61.2%	64.7%	63.0%	70.0%	▲5.3	
	施策04 子ども家庭支援センターすこやかなどで児童虐待に関する相談を受け付けていることを知っている市民の割合	37.6%	47.3%	47.5%	47.4%	50.0%	▲2.5	
基本目標3	施策08 地域包括支援センターを知っている高齢者の割合	56.3%	58.1%	53.3%	55.7%	65.0%	▲11.7	
	施策12 健康だと感じている市民の割合	74.1%	74.2%	71.1%	72.7%	80.0%	▲8.9	
	施策12 定期的ながん検診を受けている市民の割合	58.0%	49.2%	45.7%	47.5%	60.0%	▲14.3	
基本目標4	施策13 1年間に生涯学習をした人の割合	38.6%	40.0%	24.3%	32.2%	40.0%	▲15.7	
	施策13 社会教育施設の満足度	図書館	68.3%*	77.9%	80.4%	79.2%	75.0%	5.4
		公民館	41.2%*	74.8%	75.4%	75.1%	50.0%	25.4
	施策13 学習の成果をまちづくりに生かしている市民の割合	19.3%	20.6%	13.4%	17.0%	25.0%	▲11.6	
基本目標5	施策14 運動を週に1回以上行っている市民の割合	63.9%	62.8%	60.6%	61.7%	70.0%	▲9.4	
	施策15 地域の一員としての連帯感を感じている市民の割合	35.8%	31.4%	31.1%	31.3%	50.0%	▲18.9	
	施策15 地域活動に参加している市民の割合	26.4%	22.7%	16.8%	19.8%	33.0%	▲16.2	
基本目標6	施策16 日常の買い物が便利と感じている市民の割合	73.8%	82.0%	83.6%	82.8%	80.0%	3.8	
	施策17 「映画のまち調布」を進める取組に満足している市民の割合	69.0%	75.7%	78.2%	77.0%	75.0%	3.2	
	施策18 市内農家の農産物直売所を利用している市民の割合	56.0%	55.8%	52.7%	54.3%	60.0%	▲7.3	
	施策19 1年間で芸術文化を鑑賞、または自ら芸術文化活動を行った市民のうち、市内公共施設を利用した割合	53.9%	51.1%	42.6%	46.9%	60.0%	▲17.4	
基本目標7	施策21 住みやすいと感じている市民の割合	93.0%	94.2%	94.1%	94.2%	95.0%	▲0.9	
	施策21 市内に優れた景観があると感じている市民の割合	82.5%	85.1%	82.1%	83.6%	90.0%	▲7.9	
	施策22 中心市街地が魅力的であるとと感じている市民の割合	67.8%	67.1%	68.1%	67.6%	80.0%	▲11.9	
	施策22 駅周辺の利便性が高いと感じている市民の割合	67.0%	69.7%	70.9%	70.3%	80.0%	▲9.1	
	施策22 深大寺周辺の景観が優れていると感じている市民の割合	89.0%	89.6%	89.6%	89.6%	90.0%	▲0.4	
	施策23 バリアフリー対応住宅に住んでいると答えた市民の割合	51.7%	48.9%	49.1%	49.0%	65.0%	▲15.9	
	施策23 空き家とならないための予防策が必要であるとと感じている市民の割合※1	-	67.6%	61.4%	64.5%	80.0%	▲18.6	
	施策24 自宅などから目的地まで円滑に移動できる道路ネットワークが形成されていると感じている市民の割合※2	72.0%	50.0%	64.9%	57.5%	75.0%	▲10.1	
	施策24 普段利用している道路が通行しやすいと感じている市民の割合	58.6%(徒歩)*	57.4%(徒歩)	65.5%(徒歩)	61.5%(徒歩)	60.0%(徒歩)	5.5	
	施策25 市内の公共交通機関(電車・バス)を利用しやすいと感じている市民の割合	76.3%	75.2%	80.6%	77.9%	77.0%	3.8	
	施策29 騒音や悪臭などの公害対策について不満を感じる市民の割合	19.5%	13.8%	13.4%	13.6%	20.0%	▲6.6	
施策30 戦争についての話をしたり、聞いたりしたことのある市民の割合	84.9%	83.6%	79.8%	81.7%	90.0%	▲10.2		

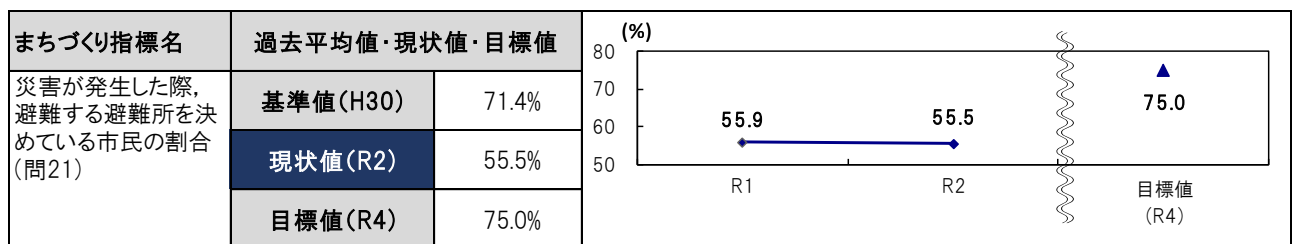
目標値を達成した項目：

※基準値のうち、☆については「調布市基本計画策定に関する市民アンケート調査(調査期間:H30.12.28~H31.1.18)」による把握値

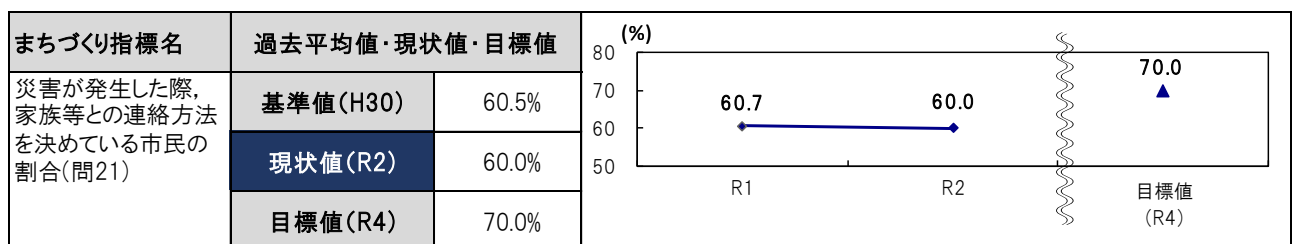
- ※1 「空き家とならないための予防策が必要であると感じている市民の割合」は、基本計画（令和元年度～令和4年度）のまちづくり指標として新たに設定した指標で、前回調査から現状値を把握しました。
- ※2 「自宅などから目的地まで円滑に移動できる道路ネットワークが形成されていると感じている市民の割合」は、基本計画（令和元年度～令和4年度）のまちづくり指標として新たに設定した指標で、平成30年度に新設した「自宅などから目的地に向かうときに市内を円滑に移動できる道路が備わっていると思いますか。」という質問項目を、「市内の道路について、道路の利用者が目的地まで行きやすく、利便性の高い道路ネットワークが形成されていると思いますか。」に更新し、調査した結果です。

○令和元年度から令和2年度にかけて5ポイント以上減少した指標は、「1年間に生涯学習をした人の割合」、「学習の成果をまちづくりに生かしている市民の割合」、「地域活動に参加している市民の割合」、「1年間で芸術文化を鑑賞、または自ら芸術文化活動を行った市民のうち、市内公共施設を利用した割合」、「空き家とならないための予防策が必要であると感じている市民の割合」になります。特に生涯学習や地域活動、芸術文化に関する指標の減少は新型コロナウイルス感染症の影響によるものと考えられます。

施策01 災害に強いまちづくり

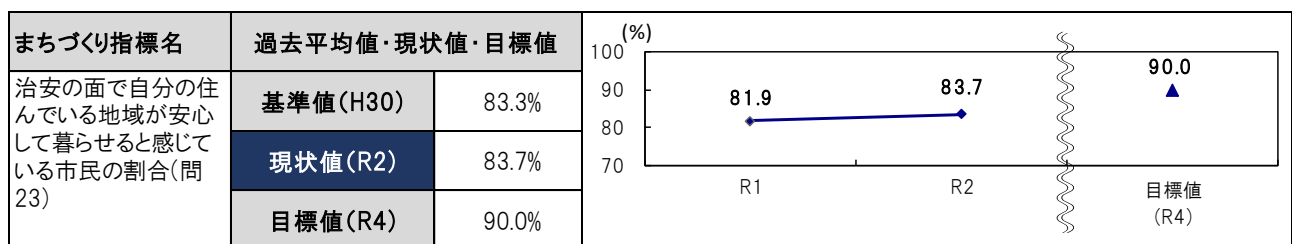


※指標の算出方法：「十分に取り組んでいる」「少し取り組んでいる」と回答した人の割合



※指標の算出方法：「十分に取り組んでいる」「少し取り組んでいる」と回答した人の割合

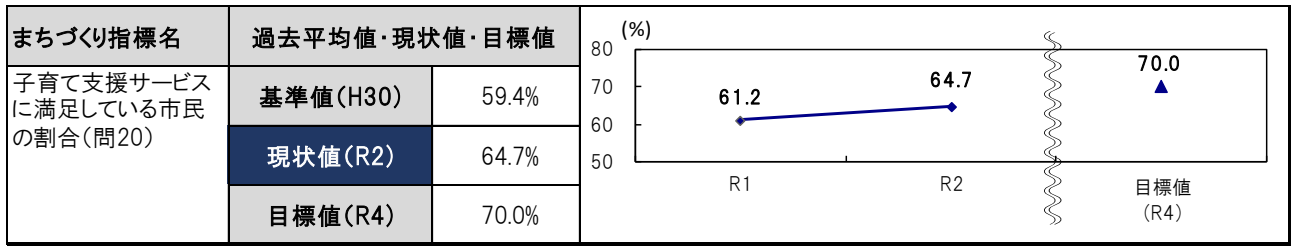
施策02 防犯対策の推進



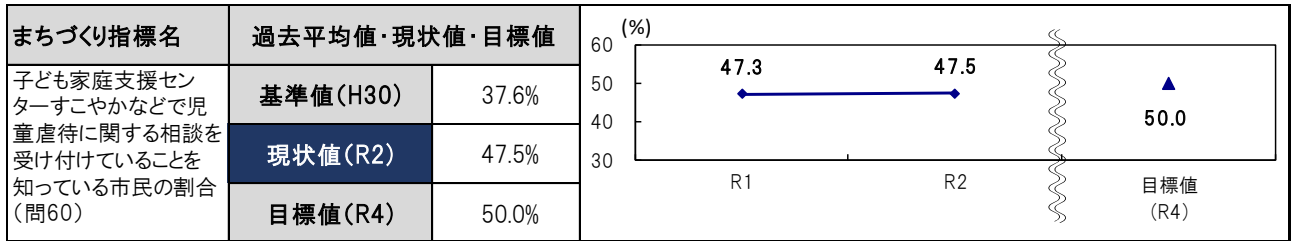
※指標の算出方法：「満足している」「どちらかといえば満足している」と回答した人の割合

第3章 調査結果<調査結果の概要>

施策 04 子ども・子育て家庭の支援

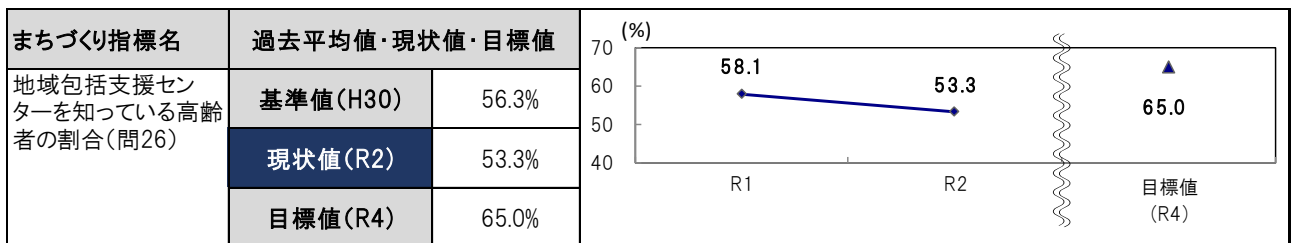


※指標の算出方法：「満足している」「どちらかといえば満足している」と回答した人の割合



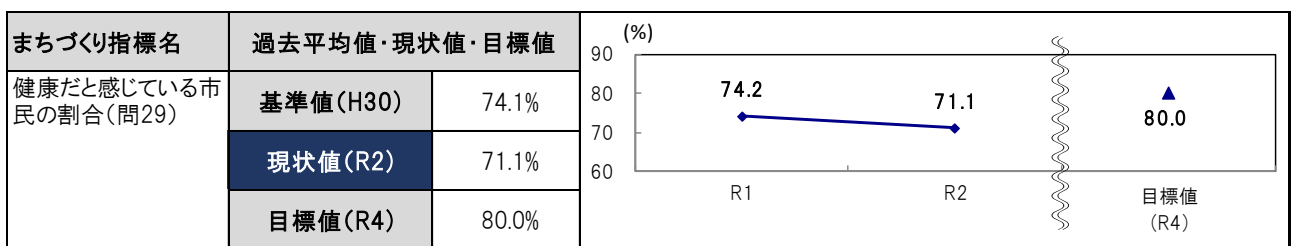
※指標の算出方法：「満足している」「どちらかといえば満足している」と回答した人の割合

施策 08 高齢者福祉の充実

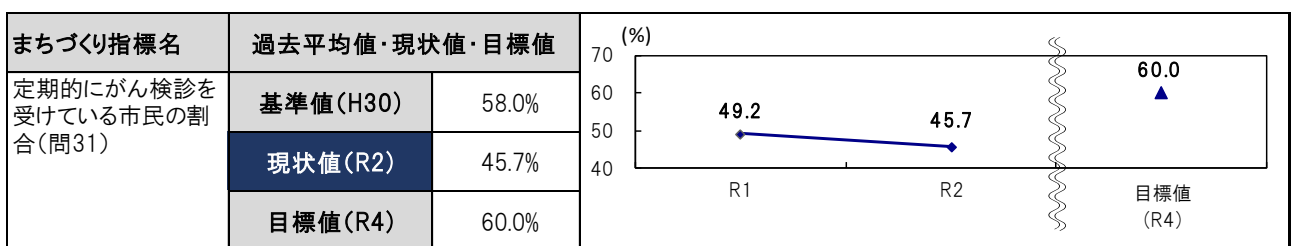


※指標の算出方法：65歳以上の回答者のうち、「知っている」と回答した人の割合

施策 12 生涯を通した健康づくり

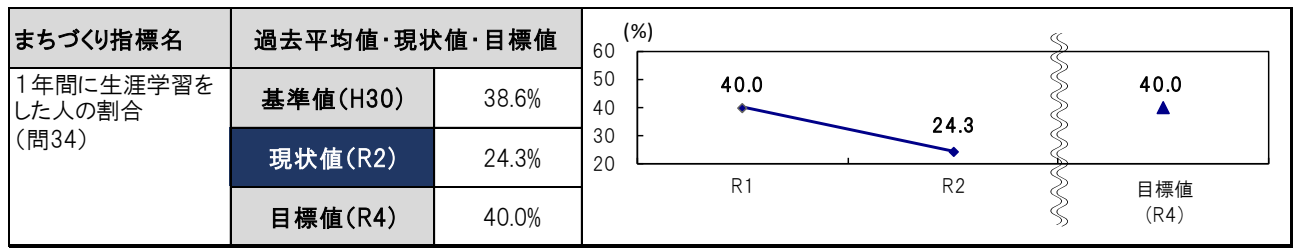


※指標の算出方法：「感じている」「どちらかといえば感じている」と回答した人の割合

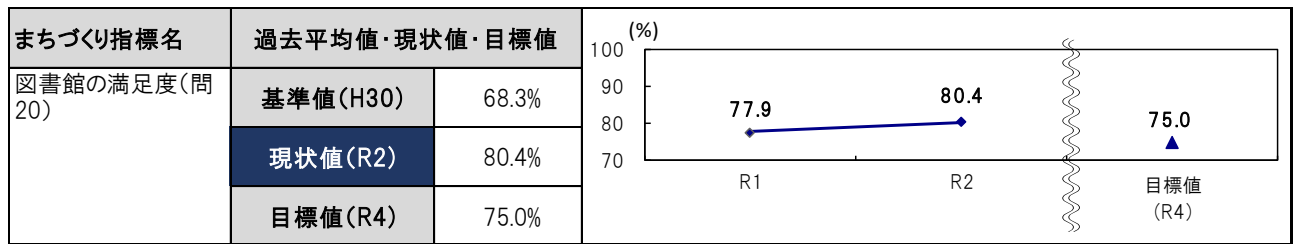


※指標の算出方法：「受けている」と回答した人の割合

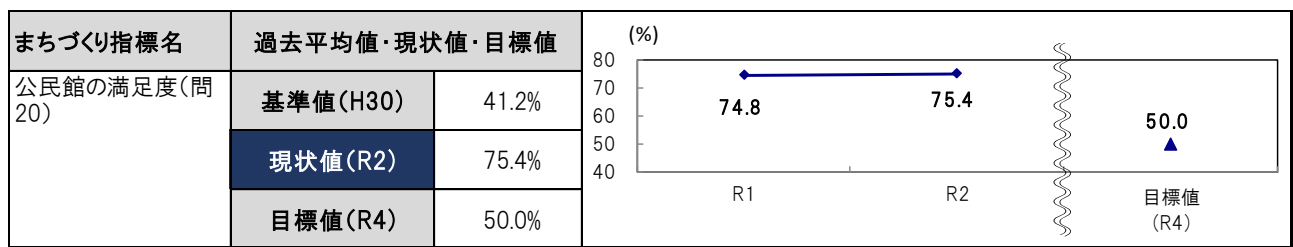
施策13 生涯学習のまちづくり



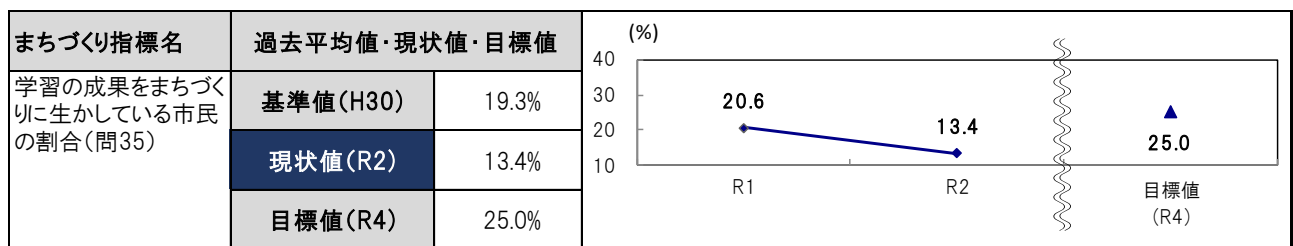
※指標の算出方法：「月1回以上取り組んだ」「年に数回程度取り組んだ」「年1回取り組んだ」と回答した人の割合



※指標の算出方法：「満足している」「どちらかといえば満足している」と回答した人の割合

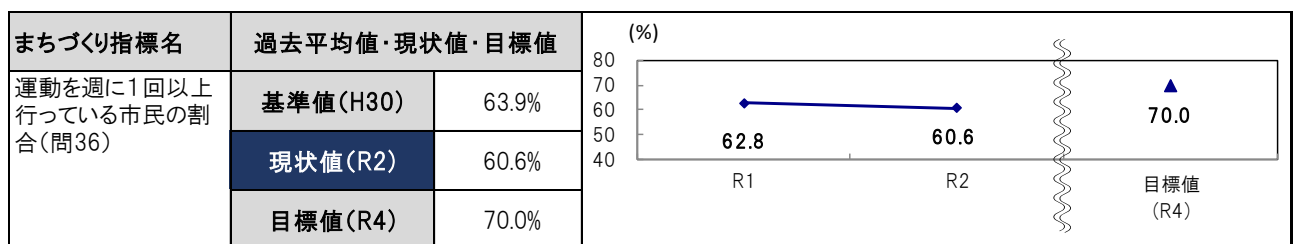


※指標の算出方法：「満足している」「どちらかといえば満足している」と回答した人の割合



※指標の算出方法：「生かしている」「どちらかといえば生かしている」と回答した人の割合

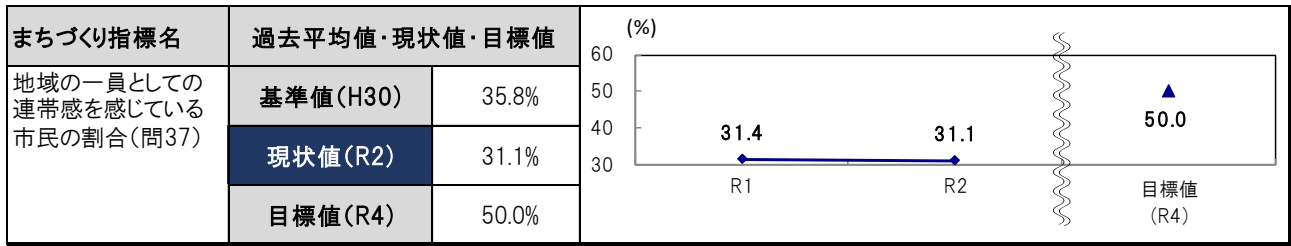
施策14 市民スポーツの振興



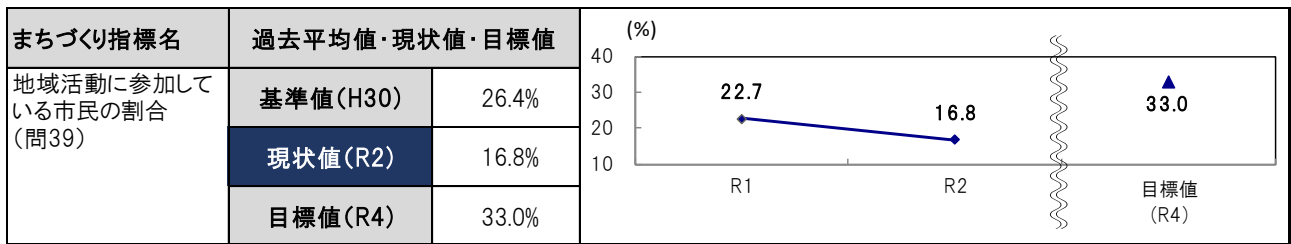
※指標の算出方法：「週2回以上している」「週1回程度している」と回答した人の割合

第3章 調査結果<調査結果の概要>

施策 15 地域コミュニティの醸成

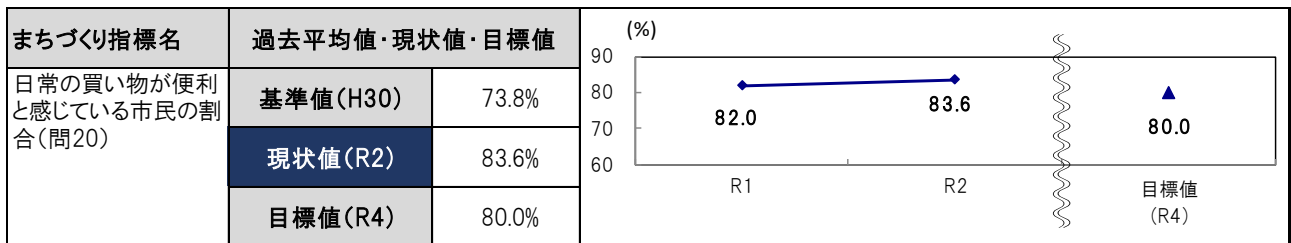


※指標の算出方法：「感じている」「どちらかといえば感じている」と回答した人の割合



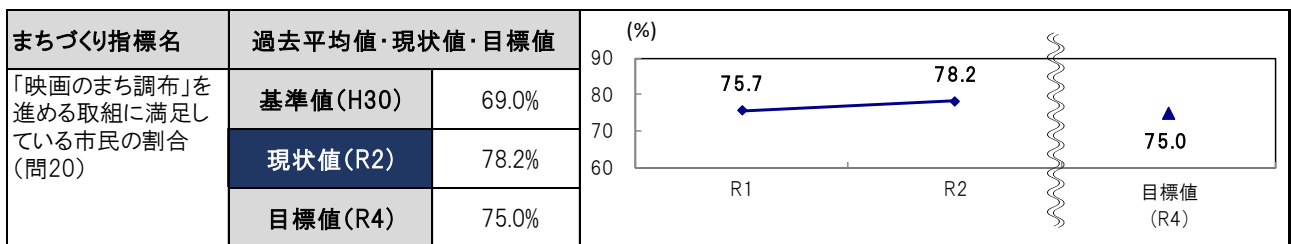
※指標の算出方法：「ほぼ毎日、参加している」「週に1回程度、参加している」「月に1回程度、参加している」「年に数回程度、参加している」と回答した人の割合

施策 16 活力ある産業の推進



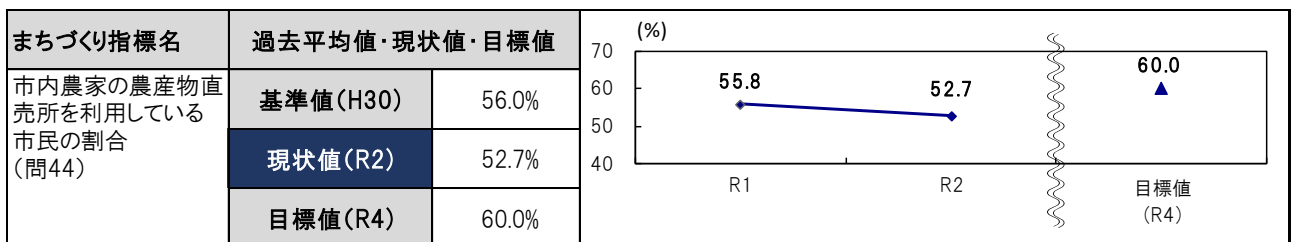
※指標の算出方法：「満足している」「どちらかといえば満足している」と回答した人の割合

施策 17 魅力ある観光の振興



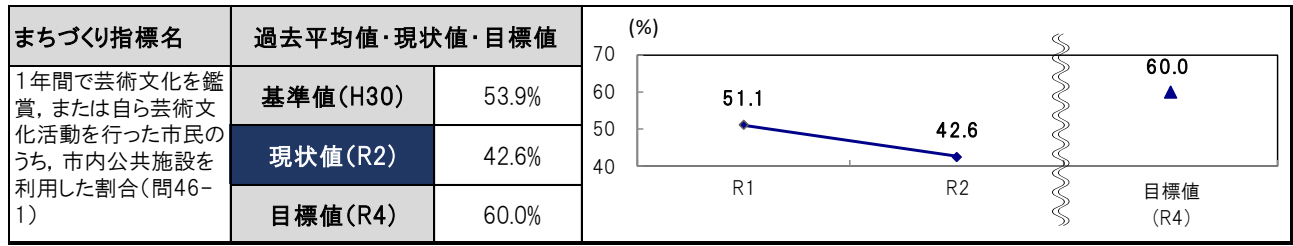
※指標の算出方法：「満足している」「どちらかといえば満足している」と回答した人の割合

施策 18 都市農業の推進



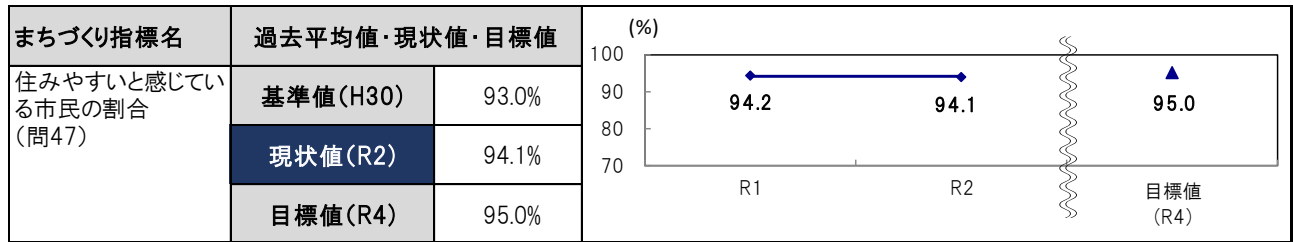
※指標の算出方法：「進んで利用している」「時々利用している」と回答した人の割合

施策 19 芸術・文化の振興

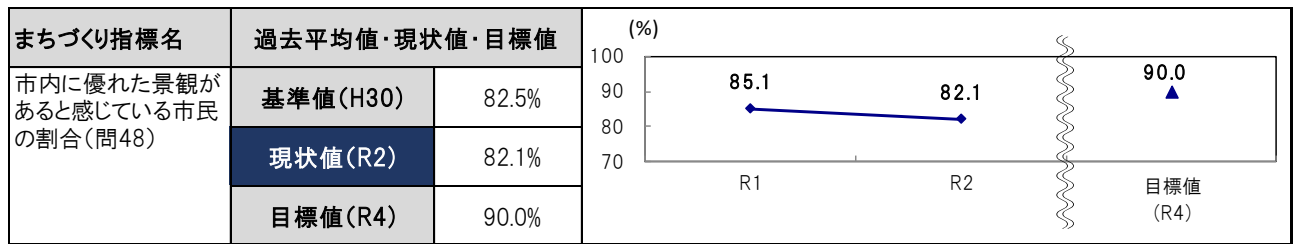


※指標の算出方法：問46で「芸術文化を鑑賞した」「自ら芸術文化活動を行った」「鑑賞及び活動した」と回答した人のうち、「文化会館たづくり・グリーンホール・せんがわ劇場」「文化会館たづくり・グリーンホール・せんがわ劇場以外の市内公共施設」と回答した人の割合

施策 21 良好な市街地の形成



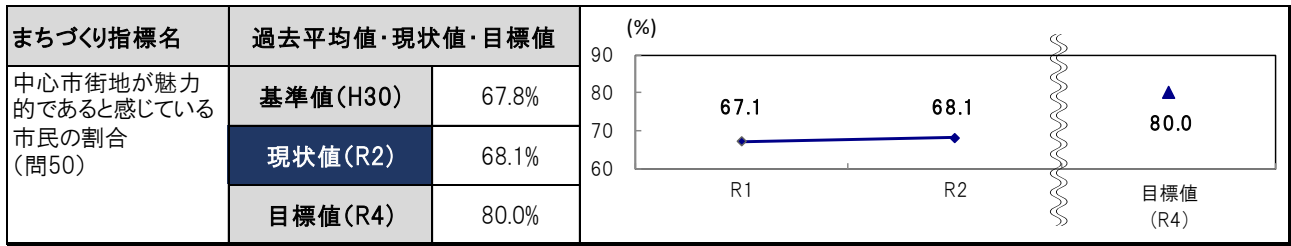
※指標の算出方法：「住みよい」「どちらかといえば住みよい」と回答した人の割合



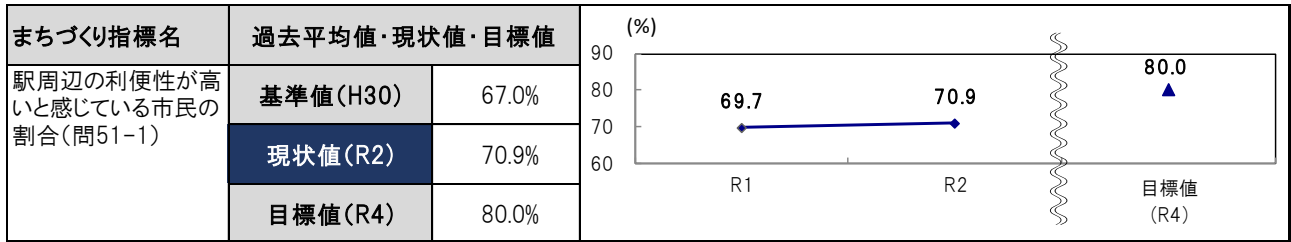
※指標の算出方法：「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合

第3章 調査結果<調査結果の概要>

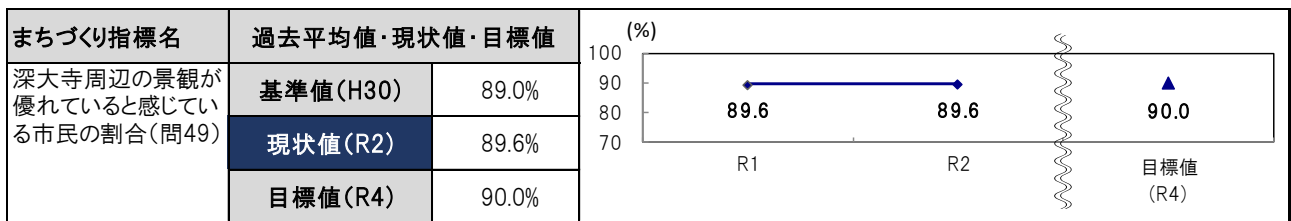
施策 22 地域特性を生かした都市空間の形成



※指標の算出方法：「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合

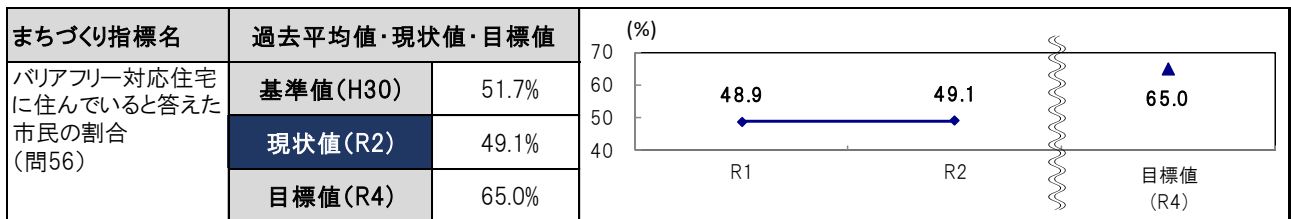


※指標の算出方法：「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合

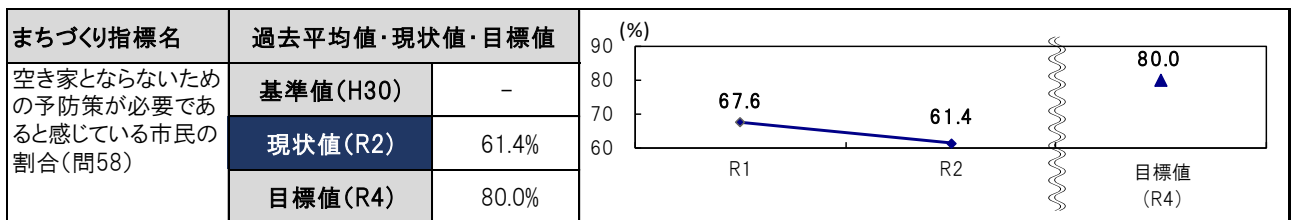


※指標の算出方法：「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合

施策 23 良好な住環境づくり

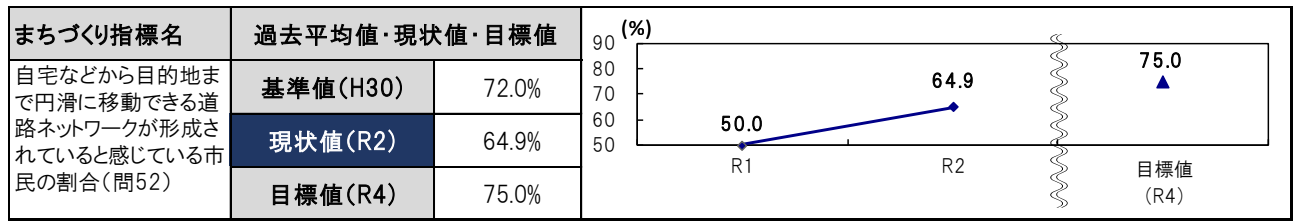


※指標の算出方法：「バリアフリー対応になっている」「一部、バリアフリー対応になっている」と回答した人の割合

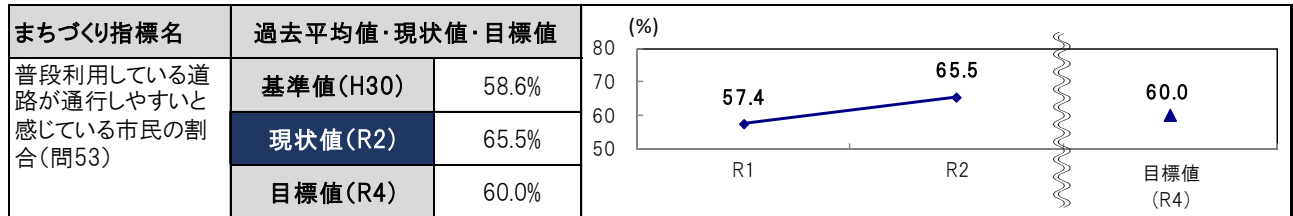


※指標の算出方法：「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合

施策 24 安全で快適なみちづくり

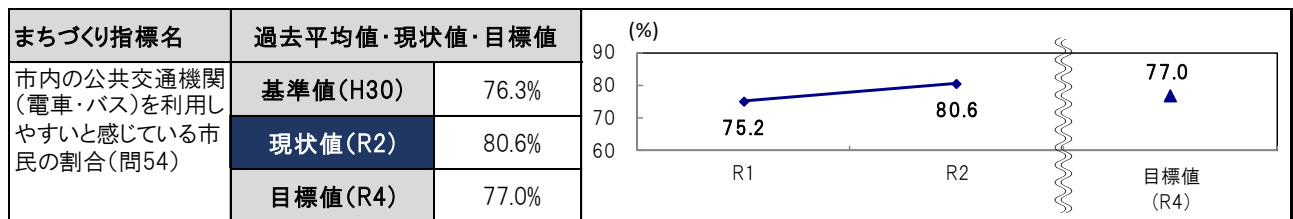


※指標の算出方法：「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合



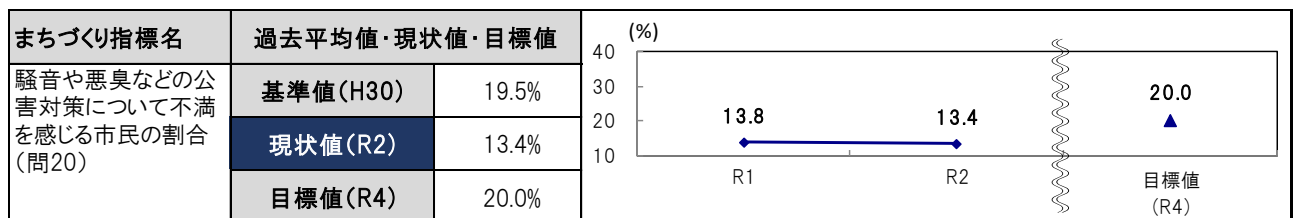
※指標の算出方法：「歩きやすい」「ある程度歩きやすい」と回答した人の割合

施策 25 総合的な交通環境の整備



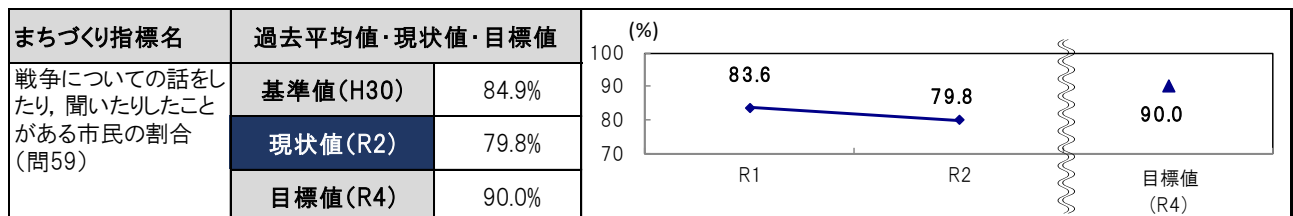
※指標の算出方法：「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合

施策 29 生活環境の保全



※指標の算出方法：「どちらかといえば不満である」「不満である」と回答した人の割合

施策 30 平和・人権施策の推進



※指標の算出方法：「ある」と回答した人の割合